

## 男女共同参画

### 欧米から学ぶ男女共同参画

企画課男女共同参画推進室

☎ 23 - 3917

男女共同参画の分野において、日本は欧米諸国など他の先進国から後れを取っているといわれています。

例えば、子どもを持つ家庭において夫の1日当たりの家事・育児関連時間が、日本では約1.5時間であるのに対し、欧米諸国では3時間以上と、日本人



男性の2倍以上の時間を家事・育児に費やしています。

また、近年は日本でも女性の社会進出が進んでいますが、指導的地位に占める女性の割合は、日本の約11%に対し、欧米諸国では約3倍の30%以上となっています。この結果、欧米諸国では85%以上の方がワーク・ライフ・バランスの現状に満足していると答えています。(内閣府男女共同参画局「ひとりひとりが幸せな

社会のために」参考)

欧米など男女共同参画社会の先進国との差を解消するために日本では、社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に占める女性の割合を、少なくとも30%程度にするという目標が閣議決定され、実現に向けた取り組みを実施しています。観音寺市においても、市の管理職に占める女性の割合を30%にすることを目標として、女性の活躍推進について組織全体で取り組んでいます。

男性の家事・育児への参画に加え、女性が社会で活躍できる機会が増えることは、男性にとっても女性にとっても満足度の高い生活ができる、ということにつながります。性別に関わらず、家庭や仕事、地域社会に積極的に参画し、一人ひとりが輝き、安心して生活できる社会を目指していきましょう。